

Vol.65

院長 関の

Face to Face

2013年 11月 1日発行



胃の中で消化された食べ物は、「小腸」と呼ばれる7メートルくらい先の管に運ばれ、栄養が吸収されます。体の免疫の6割近くが、この小腸に存在します。最近この小腸が上手く働かない人が増えていきます。そのことを「停滞する腸＝停滞腸」と呼ぶそうです。腸の運動が弱くなると、消化・吸収・排泄の流れがうまく行われず、不要な老廃物や毒素が長期間体内に溜まることになり

# 「停滞腸」を防ぐ治療のススメ



ます。腐敗した不要物はガスとなって血液などととも全身に回り、ニキビや肌荒れなどの肌トラブルをはじめ、下腹部の張り、腹痛、おならが出るといった原因になります。またこのような状態が長く続けば大腸がんのリスクも高くなります。腸の運動を支配する神経は「自律神経」です。慌しい朝は排便ができない、などは自律神経の働きが悪いといえます。運動も、睡眠も足り

てるし、水分だって野菜だって摂っているのに便秘。という人は自律神経の働きを妨げる原因を探さなければなりません。悩みや怒り、不安などの内的ストレスのほか、寒暖差などの外的ストレスも原因になります。私の行う整体治療は主にこの「腸」に注目し、腸の停滞を遠隔から改善します。腸が動き出すと体温が上がります。栄養吸収が促進され、免疫が上がります。ポジティブサイクルが生まれ、様々な不の症状を改善していくのです。腸の動きを実感できる、私の整体治療を是非お試しください。

関 修一（せきしゅういち）

健育会 東銀座整骨院・鍼灸院・

整体院 院長

代替医療の総合治療院としての確立を目指す

タイトルの face to face は「患者さん自身と向き合って患者さんの症状と闘う」ことを願ってつけた